

大会結果・各クラスの入賞者

全日本 メンズ ボディビル オーバーオール

優勝	清 尾 亨	福 岡
2位	山 田 義 徳	宮 崎
3位	吉 椿 秀 生	福 岡
4位	藪 浩 一	神 奈 川
5位	真 野 朋 之	広 島
6位	大 元 聖 人	兵 庫
7位	山 崎 巽 多 郎	福 岡
8位	金 城 世 剛	福 岡
9位	宮 崎 将 大	愛 媛

全日本 ウィメンズ ボディシェイプ

優勝	中 山 正 子	宮 崎
2位	藤 本 典 子	福 岡
3位	伊 賀 三 由 紀	高 知
4位	川 村 麻 子	愛 媛

全日本 メンズ ボディビル オーバー50

優勝	板 谷 英 之	福 岡
2位	藤 本 義 和	福 岡

全日本 メンズ ボディビル オーバー60

優勝	松 永 榮 八 郎	福 岡
2位	関 一 志	広 島
3位	森 山 裕 一	福 岡
4位	永 田 康 隆	福 岡
5位	平 良 光	沖 縄
6位	小 林 正 典	京 都

全日本 メンズ フィジーク

優勝	崎 田 勝 紀	宮 崎
2位	シェイディ・アムジャッド・サラマ	兵 庫
3位	川 元 翼	宮 崎
4位	甲 斐 文 雄	宮 崎
5位	蔭 平 亘 汰	愛 媛
6位	宮 崎 景 介	愛 媛

全日本 メンズ ボディビル オーバー70

優勝	中 嶋 章 雄	東 京
2位	矢 田 部 立 身	山 口
3位	島 田 勝 盛	福 岡
4位	横 田 健 二	福 岡

ベスト ポーザー賞

メンズ ボディビル オーバーオール	山 田 義 徳	宮 崎
ウィメンズ ボディシェイプ	中 山 正 子	宮 崎
メンズ フィジーク	崎 田 勝 紀	宮 崎
メンズ ボディビル オーバー50・60・70	関 一 志	広 島

福岡 メンズ ボディビル

優勝	廣 田 健 一 郎
2位	森 山 裕 一
3位	永 田 康 隆
4位	藤 本 義 和
5位	山 崎 巽 多 郎
6位	金 城 世 剛
敢闘賞	小 林 正 典

鹿児島 メンズ ボディビル

優勝	大 元 聖 人
2位	平 良 光
3位	宮 崎 将 大

鹿児島 メンズ フィジーク

優勝	川 元 翼
2位	蔭 平 亘 汰
3位	宮 崎 景 介

審査採点詳細

●審査員の点数表の見方

- ・各選手の最高点数と最低点数を1つずつカットし合計点を出す。但、審査員数が6名以上の場合は2つずつカット。
- ・総合計点数が同点数の場合、最高点数、最低点数のカット無しの点数で決定。
- ・最高点数、最低点数のカット無しの点数でも同点数の場合、最終決定は審査委員長の採点を有利として順位を決定。

全日本メンズボディビルオーバーオール

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
	選手氏名								
優勝	清尾 亨		1	1	1	1	1	2	4
2位	山田 義徳		2	2	2	2	2	1	8
3位	吉椿 秀生		3	3	4	4	4	3	14
4位	藪 浩一		4	4	3	3	3	4	14
5位	真野 朋之		5	5	5	5	5	5	20
6位	大元 聖人		6	7	7	6	6	6	25
7位	山崎 翼多郎		7	6	6	7	7	7	27
8位	金城 世剛		8	8	8	8	8	8	32
9位	宮崎 将大		9	9	9	9	9	9	36

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
1	1	1	1	1	2	4
2	2	2	2	2	1	8
3	3	4	4	3	3	13
4	4	3	3	4	4	15
5	5	5	6	5	5	20
6	7	7	5	6	6	25
7	6	6	8	7	8	28
8	8	8	7	8	7	31
9	9	9	9	9	9	36

総合計
8
16
27
29
40
50
55
63
72

全日本ウィメンズボディシェイプ

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
	選手氏名								
優勝	中山 正子		1	1	1	1	1	1	4
2位	藤本 典子		2	3	2	2	2	2	8
3位	伊賀 三由紀		3	2	3	3	3	3	12
4位	川村 麻子		4	4	4	4	4	4	16

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
1	1	1	1	1	1	4
2	3	3	3	2	3	11
3	2	2	2	3	2	9
4	4	4	4	4	4	16

総合計
8
19
21
32

全日本メンズフィジーク

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
	選手氏名								
優勝	崎田 勝紀		1	1	1	2	1	2	5
2位	シェイティ・アムジャッド・サマ		2	2	2	1	4	1	7
3位	川元 翼		3	4	4	3	2	3	13
4位	甲斐 文雄		4	3	3	4	3	4	14
5位	蔭平 亘汰		5	5	5	5	5	5	20
6位	宮崎 景介		6	6	6	6	6	6	24

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
1	1	1	2	1	1	4
2	2	3	1	3	3	10
3	4	4	3	2	2	12
4	3	2	4	4	4	15
5	5	5	5	5	5	20
6	6	6	6	6	6	24

総合計
9
17
25
29
40
48

全日本メンズボディビルオーバー50

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
	選手氏名								
優勝	板谷 英之		1	1	1	1	1	1	4
2位	藤本 義和		2	2	2	2	2	2	8

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
1	1	1	1	1	1	4
2	2	2	2	2	2	8

総合計
8
16

全日本 メンズ ボディビル オーバー60

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
	選手氏名								
優勝	松 永 榮八郎		1	1	3	1	1	1	4
2位	関 一 志		2	2	1	2	2	2	8
3位	森 山 裕 一		3	3	2	4	3	3	12
4位	永 田 康 隆		4	5	5	3	4	4	17
5位	平 良 光		5	4	4	5	5	5	19
6位	小 林 正 典		6	6	6	6	6	6	24

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
2	2	3	2	1	1	7
1	1	1	1	2	2	5
3	3	2	4	3	3	12
4	5	5	3	4	4	17
5	4	4	5	5	5	19
6	6	6	6	6	6	24

総合計
11
13
24
34
38
48

全日本 メンズ ボディビル オーバー70

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
	選手氏名								
優勝	中 嶋 章 雄		1	1	1	1	1	1	4
2位	矢田部 立 身		2	3	2	2	2	2	8
3位	島 田 勝 盛		3	2	3	4	3	4	13
4位	横 田 健 二		4	4	4	3	4	3	15

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	合計
1	1	1	1	1	1	4
2	3	2	2	2	2	8
3	2	3	4	3	3	12
4	4	4	3	4	4	16

総合計
8
16
25
31

福岡 メンズ ボディビル

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	井上	合計
	選手氏名									
優勝	廣 田 健 一 郎		1	1	1	1	1	1	1	3
2位	森 山 裕 一		2	2	2	4	2	2	2	6
3位	永 田 康 隆		3	5	3	3	3	3	5	9
4位	藤 本 義 和		4	4	4	2	4	4	3	12
5位	山 崎 巽 多 郎		5	3	6	5	5	5	4	15
6位	金 城 世 剛		6	6	5	6	6	6	6	18
敢闘賞	小 林 正 典		7	7	7	7	7	7	7	21

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	井上	合計
1	1	1	2	1	1	1	3
2	2	2	4	2	2	2	6
3	5	3	3	3	3	4	9
4	4	4	1	4	4	3	12
5	3	6	6	5	6	5	16
6	6	5	5	6	5	6	17
7	7	7	7	7	7	7	21

総合計
6
12
18
24
31
35
42

鹿児島 メンズ ボディビル

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	井上	合計
	選手氏名									
優勝	大 元 聖 人		1	2	2	1	1	1	2	4
2位	平 良 光		2	1	1	3	2	2	1	5
3位	宮 崎 将 大		3	3	3	2	3	3	3	9

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	井上	合計
1	1	2	1	1	1	2	3
2	2	1	3	2	2	1	6
3	3	3	2	3	3	3	9

総合計
7
11
18

鹿児島 メンズ フィジーク

プレジャッジ

順位	審査員氏名		鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	井上	合計
	選手氏名									
優勝	川 元 翼		1	1	1	1	1	1	1	3
2位	蔭 平 亘 汰		2	2	2	2	2	2	2	6
3位	宮 崎 景 介		3	3	3	3	3	3	3	9

ファイナル

鮫島	壽崎(幸)	壽崎(道)	中島	川名	山田	井上	合計
1	1	1	1	1	1	1	3
2	2	2	2	2	2	2	6
3	3	3	3	3	3	3	9

総合計
6
12
18

大会総評



特定非営利活動法人
全日本 ナチュラル ボディビルディング 連盟
理事長 / 審査委員会委員長
大会会長 / 大会実行委員長
鮫 島 康 夫

2021年 第65回 全日本ボディビルディング選手権大会・第38回 福岡ボディビルディング選手権大会・第17回 鹿児島ボディビルディング選手権大会を福岡県北九州市・コムシティ7F 子どもの館ホールで開催致しました。

新型コロナウイルス感染症防止の大変な時期で多くのスポーツイベントが中止となるなか感染防止対策には最大の注意を払い対処致しました。このコロナ禍の中、出場選手の確保も大変でしたが、本連盟の先輩達が64年間、毎年欠かさず開催し、築き上げて来た全日本大会の歴史を今年度も皆様の御協力の下、継続し開催出来ました。私共の連盟の歴史は、日本においてボディビルディングが知られ始めた1954年(昭和29年)に関西の地において発足し現在、北は北海道から南は沖縄まで会員の加盟があり、67年の歴史と伝統を誇ります。

又、本連盟の理念はボディビルディングを芸術性の高いスポーツ競技として捉え、何のスポーツにもルールがあるように本連盟が主催する公認選手権大会に出場する選手はスポーツマン精神にのっとり遵守する共通のルールがあります。それは「ドーピング禁止です。」反ドーピングの理念の下、薬物など一切の使用を認めません。3ない法則として過去(使用した事がない)・現在(使用していない)・未来(これからも使用しない)ナチュラル100%の選手達の集まりです。毎年ドーピングテスト(尿検査)を実施しています。

全日本 メンズ ボディビル オーバーオール

6連覇中の清尾と山田の両選手、僅差の争い。

優勝 清 尾 亨 (54歳・福岡)

前人未到の7連覇を達成。今回も一番の特長である大腿部前面の大腿直筋、内側広筋、外側広筋はバルク、カット共に健在でサイドポーズでも大腿部側面のカットもあり、ポージングも下半身の大腿部を決めてから上半身へ移行しポーズを決めていた。バックポーズも広背筋の広がり、三角筋の後部の細かなカット、大殿筋、ハムストリングスと圧巻であった。他の選手を圧倒したのは、サイドポーズでの三角筋と上腕部の深く割れ込んだセパレーションと上腕三頭筋の長頭、外側頭の細かなカット、筋肉の密度に目を引き付けられた。今後、欲を言えば三角筋前部のバルクアップと腹直筋の更なるバルクとセパレーションで6パックに深く割れ込んだカットを望む。又、プレジャッジの規定ポーズの時、自分のリズムもあると思うが出来るだけ他の選手と合わせてポーズを早目にとってほしい。

来年は8連覇へ挑戦！！

2位 山 田 義 徳 (61歳・宮崎)

全体的に良くまとまってこれと言って欠点はない。例年のごとく腹直筋は6パックに深く割れ込み前鋸筋共に良く、出場選手の中でNo.1であった。マスキュラーポーズでも最初上体を起こし腹直筋を見せ、大殿筋、三角筋、僧帽筋とポーズの見せ方も工夫していた。清尾選手と比べ上半身のバルクは全体的に勝っており、特に上腕部のバルクは良かったが、上腕二頭筋の長頭のピーク、三角筋と上腕部とのセパレーションと細かなカットに差が出た。ポージングは下半身の足の位置、上半身のひねり、体重のかけかたなど立体的に見せていて良く、メンズ ボディビル オーバーオールのベストポージャー賞に輝いた。

3位 吉 椿 秀 生 (46歳・福岡)

調整良く絞り込んでいた。腹直筋も6パックに割れ込み良かったが、アブドミナル&サイの規定ポーズでは腹直筋だけ意識して大腿部のカットが出なかった。又、バックポーズでは広背筋の広がり良かったがダブルバイセプスでの三角筋の後部のカットがほしい。今後三角筋のバルクアップと更なるカットが望まれる。

4位 藪 浩 一 (50歳・神奈川)

6年ぶりの出場。腹直筋、前鋸筋と大腿部のカットも良かった。特に大胸筋は中間部、上部、下部と横、上、下に走る筋繊維のカットが見え、バックポーズでも三角筋の後部、ラットスプレッドでの広背筋の広がりも良く、マスキュラーポーズも決まっていた。

5位 真 野 朋 之 (46歳・広島)

調整良く絞り込んでいた。大腿部は内側広筋、外側広筋とカットが有り、腹直筋も6パックに割れ込み、前鋸筋のカットも良かった。マスキュラーポーズでの僧帽筋も目を引きつけた。今後三角筋のバルクアップとバックポーズでの広背筋の広がりがほしい。

6位 大 元 聖 人 (25歳・兵庫)

プロポジション、バランスと良く、ポージングも上手で期待される選手。今後、全体的にバルクアップしてほしい。

7位 山 崎 巽 多 郎 (51歳・福岡)

バルクは十分で三角筋、上腕部は他の選手に引けを取らないので、もっと絞り込んで腹直筋のカットが見えるまで調整してほしい。又、ポージングの時、まず下半身の大腿部を決めてから上半身のポーズをとると、フリーポーズでは自分の欠点を見せないポーズをとってほしい。

8位 金 城 世 剛 (31歳・福岡)

毎年同じ評価になるが調整不足。バルクは十分あり、バランス、シンメトリーも良く、バックポーズでの広背筋の広がりもあり、ポージングの上手な将来有望な選手だが、今回も絞り込みが甘く腹直筋のカットが出なかった。

9位 宮 崎 将 大 (28歳・愛媛)

肩幅が広く、プロポジション、バランスと良くバルクは十分で、バックポーズの広背筋の広がりもポージングも上手であった。絞り込みが甘く腹直筋のカットが出なかった。来年期待する。

全日本 ウィメンズ ボディシェイプ

中山、藤本両選手の争い。

優勝 中 山 正 子 (55歳・宮崎)

5年ぶりの出場。バランスが良く腹直筋、前鋸筋とカットがあり、三角筋は前後の厚みと丸みがあり、バックポーズでは三角筋後部のカットもあり、広背筋の広がりも以前より良くなっており、ポージングも上手でウィメンズ ボディシェイプでのベストポージャー賞に輝いた。

2位 藤 本 典 子 (58歳・福岡)

フロント ダブル バイセプスでの上腕二頭筋、三頭筋のカット、セパレーションが良く、腹直筋も薄っすらと見えていたが、もう少しの絞り込みでカットがほしかった。バックポーズでは三角筋後部のカットもあり、広背筋の広がり凹凸に見えるVラインは以前よりは良くなっ

て来たが、毎年、毎回と総評で注意しているリラックスポーズ、規定ポーズでのサイドポーズは上体を少しひねり、バスト、広背筋、ウエスト、ヒップで形成されるS字ラインを強調して審査員に見せる工夫がほしい。又、肩の前後の厚みと丸みで外側へ張り出した三角筋が必要。トレーニングとポージング練習で努力してほしい。

3位 伊賀 三由紀 (32歳・高知)

プロポーション、バランス共に良く、特にリラックスポーズ、規定ポーズと共にサイドポーズの見せ方、表現力が上手でヒップ、ウエスト、広背筋のラインが良く、バックポーズでも広背筋の広がりVシェイプでポージングも上手であった。あともう少しの絞り込みで腹直筋のカット、セパレーション、大腿部にカットが見える引き締まったレッグラインが出るまで調整でシェイプアップしてほしい。

4位 川村 麻子 (58歳・愛媛)

昨年に引き続き2回目の出場。バランス良、ポージングも上手でスケールの大きな選手。バックポーズでの広背筋の広がりなど昨年よりも一段と良くなった。今後もう少しの絞り込みで腹直筋のカット、セパレーションと大腿部、ヒップがシェイプされたら上位入賞も夢ではない。来年を期待する。

全日本 メンズ フィジーク

崎田、断突の勝利。

優勝 崎田 勝紀 (40歳・宮崎)

プロポーション、バランス共に良く、ウエストが細く、腹直筋は6パックに割れ込み、前鋸筋に至るまでカットが出ていた。又、大胸筋、三角筋の厚み、前部、中間、後部と共にバルク、ディフニション、カット、セパレーションと良く、バックスタンスでの広背筋の広がりも良かった。ポージング、曲とのマッチ、表現力も良く、メンズ フィジークでのベストポージャー賞に輝いた。

2位 シェイディ・アムジャッド・サラマ (29歳・兵庫)

圧倒的なバルクで大胸筋、三角筋、上腕二頭筋、三頭筋とスケールの大きさを感じさせた。関西大会よりは絞り込みが少し甘く、腹直筋のカットがもう一つだった。

3位 川元 翼 (28歳・宮崎)

プロポーション、バランス共に良く、絞り込んで腹直筋も6パックに割れ込んでおり、前鋸筋もカットがあった。バックスタンスでの広背筋の広がりも良かった。全体的に細身なので肩回りのバルクアップが望まれる。

4位 甲斐 文雄 (47歳・宮崎)

スケールが大きくバルクは十分。あともう少しの絞り込みが足らなかった。三角筋のバルクアップと腹直筋のセパレーションで6パックに割れ込み、前鋸筋のカットが出たらウエストの太さをカバー出来る。来年を期待する。

5位 蔭平 亘汰 (23歳・愛媛)

調整不足。絞り込んで腹直筋のカットが出たら、上位選手と対等にたたかえると思う。来年を期待する。

6位 宮崎 景介 (30歳・愛媛)

ポージングは上手なので、全体的にバルクアップを望む。来年を期待する。

全日本 メンズ ボディビル オーバー 50

板谷、圧勝。

優勝 板谷 英之 (55歳・福岡)

プロポーション、バランスと良くポージングも上手でスケールが大きかった。大腿部は正面のカットもあり、大胸筋はバルクもあり、下部のディフニションと良く、バックポーズでも広背筋の広がりもあった。欲を言えば腹直筋のカットがもう少しほしかった。

2位 藤本 義和 (54歳・福岡)

調整良く、昨年よりも一回りバルクアップし、三角筋は前部、後部と良かった。あともう少しのカットがほしかった。

全日本 メンズ ボディビル オーバー 60

松永、関両選手、僅差の争い。

優勝 松永 榮八郎 (68歳・福岡)

調整良く、よく絞り込んでいた。特長である大腿部のカットは健在で腹直筋のカットもすばらしかった。ポーズを決める時、もっと大腿部を強調してポーズをとったらもっと迫力が増すと思う。サイドポーズでは上体を少しひねり、又、足の位置も工夫し、下腿部横のカットを見せたらもっと良かったと思う。

2位 関 一志 (67歳・広島)

調整良く、よく絞り込んでいた。一番に目に付いたのは大腿部のカットで内側広筋、外側広筋、大腿直筋、内側の縫工筋、バックポーズでのハムストリングスのカット、下腿部は外側横の長腓骨筋のカットもすばらしかった。腹直筋も6パックに割れ込み上腕二頭筋、三頭筋とセパレーションも良く、バックポーズでは広背筋の広がりも良かった。ポージングも表現力豊かでメンズ ボディビル オーバー 50・60・70のベストポージャー賞に輝いた。来年はチャンピオンに返り咲いてほしい。

3位 森山 裕一 (68歳・福岡)

昨年と比べはるかに良く、バルク、カット共に良く仕上がっていた。大腿部の正面のカットが出るので、ポーズをとる時脚から決めると迫力が増すと思う。サイドポーズでは三角筋と上腕部のセパレーションも良く、腹直筋のカットも良かった。バックポーズでは広背筋の広がりがほしい。トレーニングとポージングで広背筋が広がるように練習に励んでほしい。

4位 永田 康隆 (60歳・福岡)

3年ぶりの出場。プロポーション、バランスと良くポージングも上手だが調整が甘かったせいか元気がなかった。バックポーズでの広背筋の広がりも良かったが、正面の大腿部、腹直筋のカットがなかった。

5位 平良 光 (64歳・沖縄)

肌も黒くよく絞り込んで腹直筋はカットもあるけど、ポーズのとり方が下手なのかカットが出せなくてアピール性に欠けていた。バックポーズではカットは出ていたが広背筋の広がりがほしい。正面ポーズがすべて仁王立ちなので足の位置を工夫した方が良い。又、三角筋のバルクアップを望む。

6位 小林 正典 (64歳・京都)

調整が甘かった。バルクは十分で特に上腕部は良く、バックポーズでの広背筋の広がりも良かった。来年はもっと絞り込んでチャレンジしてほしい。

全日本 メンズ ボディビル オーバー70

中嶋、念願のチャンピオン。

優勝 中嶋 章雄 (73歳・東京)

元来、バルク型だが、今回は調整良く仕上がっていた。大腿部は前面の大腿直筋、内側は縫工筋とカットもあり、腹直筋のカットも良かった。

2位 矢田部 立身 (77歳・山口)

バックポーズでは三角筋後部のカットがあり、広背筋の広がりも良かった。大腿部もカットもあり、マスキュラーポーズなど絞るポーズは迫力があつた。欲を言えば腹直筋のカットがほしい。

3位 島田 勝盛 (79歳・福岡)

バランスも良く、大腿部はカットが出ており、バックポーズでの広背筋の広がりも良く、マスキュラーポーズも決まっていた。

4位 横田 健二 (73歳・福岡)

バランスが良く、バックポーズでの広背筋の広がりが良かった。もう一絞りして腹直筋のカットが出たらもっと上位への入賞が期待される。来年も頑張ってもらいたい。

理事長（審査委員会委員長）からの提言

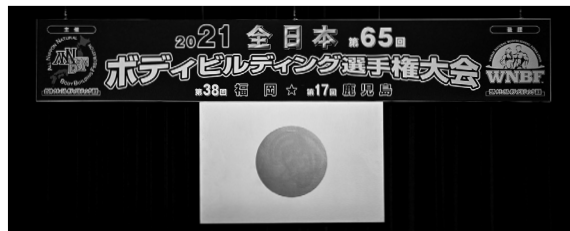
- ★今大会もコロナ禍で出場選手の確保に苦労し、観客も入場者制限で少なかったが、感染防止対策には最大の注意を払い、全日本大会を毎年継続して開催出来た事は大変喜ばしい事であった。
- ★全日本メンズ ボディビル オーバーオールは清尾 亨選手が本連盟で誰もが成しとげていない前人未到の7連覇を達成。永くその栄誉を称える。更に8連覇に挑戦してほしい。
- ★規定ポーズ、アブドミナル&サイの時、腹筋だけに注意が入ってサイ（大腿部）のカットが出ていない選手が多い。大腿部を決めてから腹筋へと移行してほしい。又、一番目に付く身体の中心部、腹直筋のセパレーション、6パックに割れ込まなければ勝ち目はない。
- ★マスキュラーポーズで、あまりにも前屈みになり過ぎて三角筋と僧帽筋しか見せない選手がいるが、まず最初に腹直筋、大胸筋のカットを見せた後、三角筋前部、僧帽筋と絞り込んでカットを見せた方が審査員へのアピールも出来る。
- ★今大会もポージングが上手でアピール性の高い選手も何名かはいたが、毎年、毎回お願いしているポーズの研究と練習が必要。上手な選手を参考にしたり、振付の指導を受けるなどしてレベルアップしてほしい。足の位置、上体のひねり、審査員及び観客へ見せる角度と選曲、曲とのマッチ、リズム感など自己の表現力をアップし観客を魅了してほしい。
- ★一昨年から全日本 メンズ ボディビル オーバーオール上位3選手とポージングのレベルアップの為に各クラスのベストポージャー賞に輝いた4選手へ交通費、宿泊費の一部として補助金を贈呈。今後出場選手の励みになればと期待している。
- ★ナチュラル100%の理念の下、ドーピングテスト・尿検査（オリンピックで禁止されているタンパク同化ステロイド、利尿剤、興奮剤、麻薬剤、 β -ブロッカー）を審査員の投票により、全日本・福岡・鹿児島大会で5名の選手、関西大会で3名の選手に実施。検査結果は8名の選手全員陰性でした。
- ★本連盟の理念を理解、賛同して頂き新加盟、及び選手が多数大会へ出場するよう組織拡大及び正しいボディビルディングの普及、発展の為に役員、選手は一致団結して活動致します。

大会写真

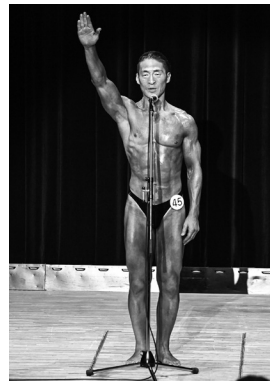
開会式



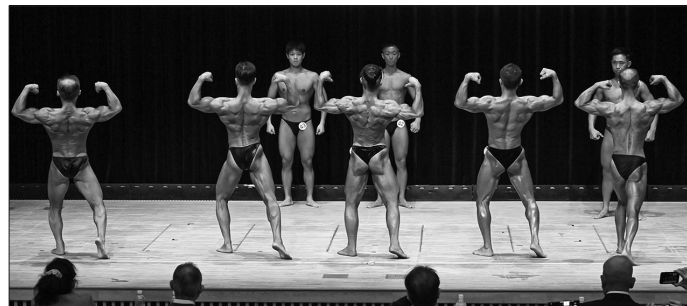
理事長・大会会長挨拶



全日本 メンズ ボディビル オーバーオール



選手宣誓



プレジャッジ



ポーズダウン



表彰式



優勝 尾 清



亨



2位 山 田 義 徳



3位 吉 椿 秀 生



4位 藪 浩 一



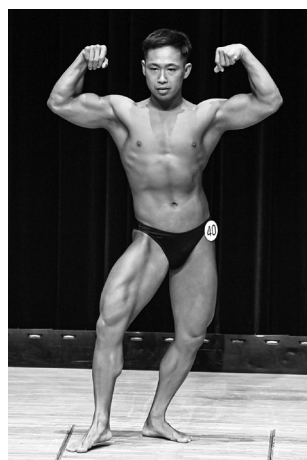
5位 真 野 朋 之



6位 大 元 聖 人



7位 山 崎 巽多郎



8位 金 城 世 剛



9位 宮 崎 将 大

全日本 ウィメンズ ボディシェイプ



プレジャッジ



表彰式



優勝 中山正子



2位 藤本典子



3位 伊賀三由紀

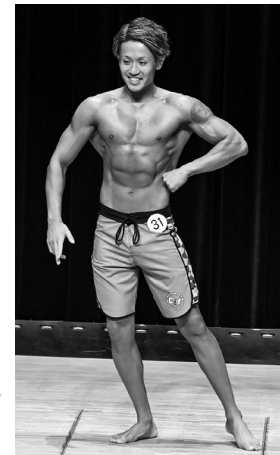
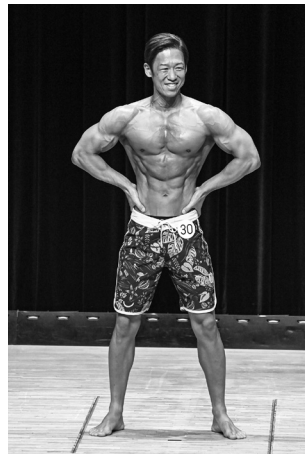


4位 川村麻子

全日本 メンズ フィジーク

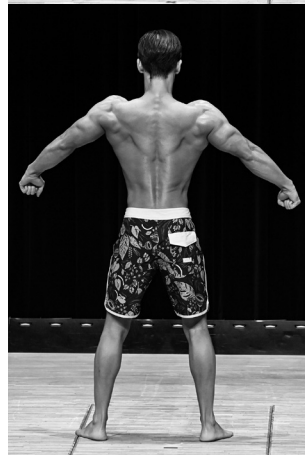


プレジャッジ

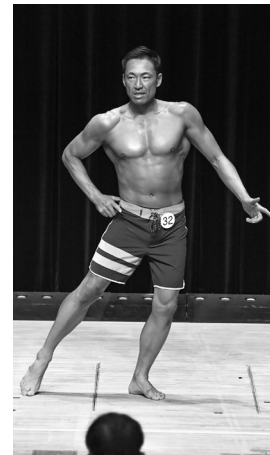


2位 シエイ・アマジャッド・サラマ

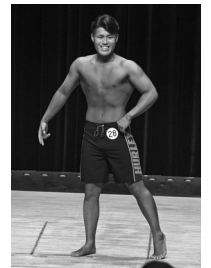
3位 川元 翼 優勝 崎田勝紀



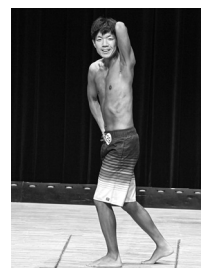
表彰式



4位 甲斐文雄



5位 蔭平巨汰



6位 宮崎景介

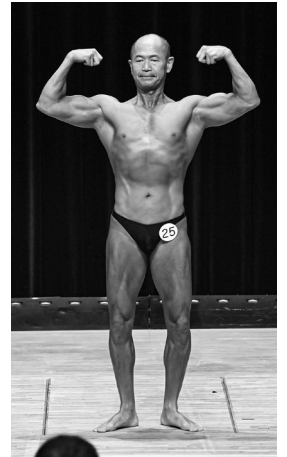
全日本 メンズボディビル オーバー50



プレジャッジ



表彰式



優勝板谷英之 2位 藤本義和

全日本 メンズボディビル オーバー60



プレジャッジ



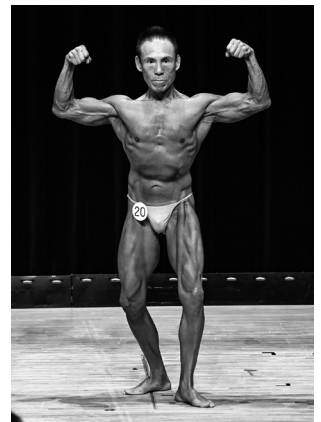
表彰式



プレジャッジ



優勝 松永榮八郎



2位 関一志



3位 森山裕一



4位 永田康隆



5位 平良光



6位 小林正典

全日本メンズボディビルオーバー70



プレジャッジ



表彰式



優勝 中嶋章雄



2位 矢田部立身



3位 島田勝盛



4位 横田健二

ベストポージャー賞



福岡 メンズ ボディビル



プレジャッジ



表彰式



優勝 廣田健一郎 2位 森山裕一 3位 永田康隆



4位 藤本義和 5位 山崎翼多郎 6位 金城世剛 敢闘賞 小林正典

鹿児島 メンズ ボディビル



ポーズダウン

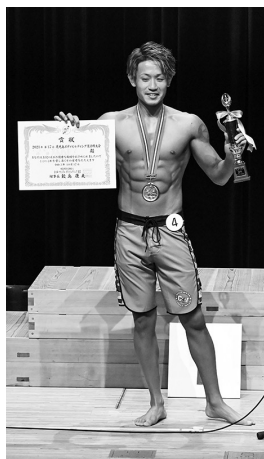


表彰式



優勝 大元聖人 2位 平良光 3位 宮崎将大

鹿児島 メンズ フィジーク



優勝 川元翼



表彰式

2021年 第2回 関西ボディビルディング選手権大会
令和3年9月19日(日) 神戸市・神戸ラピスホール

メンズ ボディビル

優勝	長 友 勇 樹
2位	吉 椿 秀 生
3位	上 条 亮 明
4位	関 一 志
5位	大 元 聖 人
6位	宮 崎 将 大



ラインナップ



プレジャッジ



表彰式



優勝 長友勇樹

ウイメンズ ボディシェイプ



優勝 川村麻子

ウイメンズ フィギュア



優勝 伊賀三由紀

ウイメンズ ビキニ



優勝 高木香奈衣

メンズ フィジーク

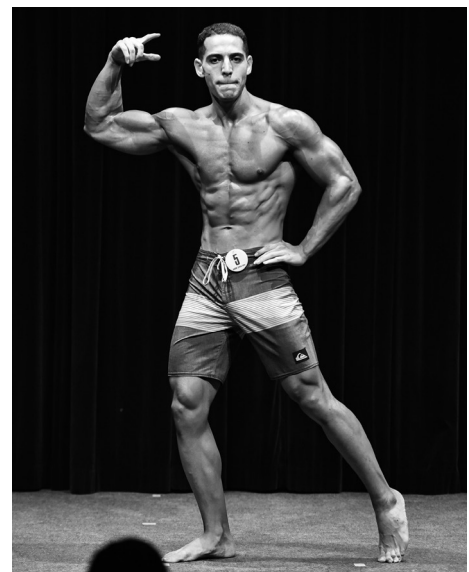
優勝	シェイディ・アマジャッド・サラマ
2位	田 野 祥 太
3位	甲 斐 文 雄
4位	ロシャッド・アリ・アクバル
5位	ロマドン・サフルディン
6位	石 井 敬 裕
7位	高 野 史 弥
8位	鹿 島 卓 哉
9位	長 山 航 大
10位	宮 崎 将 大



ラインナップ



表彰式



優勝 シェイディ・アマジャッド・サラマ